

1. 献金 13,698円(小学校保護者及び職員多数) 5,000円(平成3年高校卒業生)**献品** 小学校保護者及び職員多数 幼稚園職員 高校職員米 10^{kg}×1, 6^{kg}×1, 5^{kg}×1, 2^{kg}×2, 1^{kg}×1 梅干し1パック

みそ1パック 海苔10枚×10セット、10枚×4 紙袋8、ポシェット1,

バッグ1, 冬物下着4, トレーナー1, ポロシャツ2, 冬物つなぎウエヤー1, 腹巻き1, セーター1, どんぶく1

毎回感謝の思いが尽きません。小学校は毎月発刊の予定表に炊き出し予定日を入れてくださり、保護者・教職員全体のご協力をいただいています。

2. 夜回り 2月8日

今回は**出発前の様子**を一部報告します。」

家に帰って30分横になってから出かけた。出かけるときはくたびれているが、車が現場に近づくにつれて覚醒してくる。いつも少し遅れて6時半から7時頃にゆくので、教会の台所や奥の和室は夜回りの準備の喧騒で埋め尽くされている。夜回りは大体いつも10数人のスタッフ。50~60代のご婦人が中心(コレガトツテモツヨイヒトタチ)で、わたしのようなオヤジが2~3人。20代が二人ぐらい。「こんばんは」と声に力なく挨拶すると、「今日はジュニアは？」ご婦人がぎろっと見て言う。「息子はテスト期間中です。いちおう高校生なので」一瞬笑いが起こった。息子はご婦人に人気があった。オヤジも昔おばさんに好かれたから、かわいそうだが遺伝である。夜回りがなんでこうなったのか、なにしろご婦人方のパワーがすごい。準備もテキパキとこなすし、夜回り中には野宿のオヤジたちに遠慮なく説教する。息子がいないので今日は案の定幼稚園でパートをしているOさんと二人の夜回りとなった。ちょっと気が重くなる。まず出発に手間取る。このムスメはボランティア用のカレーがおいしいと言って三杯おかわりし、残りをビニール袋に入れるのにまた時間がかかった。背中にしょったリュックに大事に入れてある。「すみませーん」とニコニコしながらトーンの高い声で言う。夜回りしてるとときどき目が回ることもあり、オヤジたちの方が気遣ってくれることも多い。

出発 一日大雪とみぞれの日だった。車中でムスメのOさんは母親に怒られても自転車で来たこと。途中車にずいぶん注意されたこと。バスの運転手にはマイクで怒鳴られたことなどをとぎれなく話す。わたしは一言「バスや車も大変だったね」。すると「そうなんですよ」とやり返してくる。園児の気持ちもきっと分かるにちがいない。

国際センター裏のベンチに一人、毛布にくるまって動かない。声だけかけておむすびとゆで卵、炊き出しのチラシを置いてゆく。**西公園** ササキさんが橋下ハウスに来やすいように雪かきをしてきれいに道を作って待っていてくれた。ありがたいと思う。**陸橋下**のオノさんは先月時計をあげた息子がいないのでがっかりした顔をしていた。「部品がなくてもアクセサリーには使えろと言って大事にしていますよ」と伝えるとやっと気を取り直してくれた。**勾当台公園** ミカサさんの饒舌ぶりには初めて出会った。ワタナベさんは人を見ると饒舌になる。さびしいのだろう。ただ今日は一歩入っていた様子。Oさんと話しているうちにシモネタの話になってゆき、わたしは一喝してそこを離れることとなった。その後のOさんの落ち込みよう。「アァー アタシはセクハラされた。アァー アァーあたしがセクハラ受けないようにちゃんと守ってちょうだい」「この活動を望んでしてるのなら自分でやり返すぐらい強くなりなさい」「アタシできない」わたしはまた、くらくきた。この晩であった人は17人だった。

3. 炊き出し月 2月11日 わたしは仕事のため不参加。息子が参加してくれた。**次回の炊き出しは3月11日です。献品などありましたらお願いします。車出しも不足しています。**

